

一般歯科の中での小児歯科 家族全員一生通える歯科医院をめざす

(医)いけだ歯科医院(長崎県長崎市) 副院長 池田 靖子



略歴

1990年 長崎大学歯学部卒業
1990年 長崎大学歯学部小児歯科学講座入局(～1992年9月)
1992年 いけだ歯科医院 副院長
現在に至る

小児歯科専門医

所属会

長崎小児歯科臨床医会
全国小児歯科開業医会日本咬合育成研究会
筒井塾咬合療法研究会

夫婦開業の場合、妻即ち女性歯科医師の方が小児を担当することが多いようです。長崎小児歯科臨床医会では8名の女性歯科医がそのスタイルで営んでいます。口腔外科、歯周病、矯正、小児歯科と出身はさまざまですが、どの先生も今は自院の小児歯科部門をさらに高めようと勉強を共にする仲間です。このような仲間からも、将来専門医が輩出され子育て経験のある息の長い小児歯科医が増加してほしいと願っています。

当シンポジウムにあたり、長崎県内の妻が小児歯科専門医で夫婦開業形態の診療所全4件で受診する小児の保護者123名を対象に「診療所選びのきっかけになったことは？」というアンケート調査を行った結果です。①口コミ、紹介(47.0%) ②近所通いやすい(47.0%) ③小児専門医の存在(38.3%) ④女性歯科医師の存在(28.7%) ⑤看板に小児歯科の表示を見て(19.1%) ⑥大人も通える(19.1%)

あえて女性の歯科医を選択しての受診が3割弱。逆を言うと7割以上の方が、歯科医の男女関係なくの受診であり、小児歯科診療そのものへの期待が伺えます。育児家事仕事と大変ではありましたが、それらを乗り越えての自己研鑽を認められているようで大変嬉しく、又さらに向上していかなければと思われる結果でした。

当院は18歳未満の患者割合が20%程度です。今回は、80%が大人の診療という環境の中で小児歯科診療をどう共生させるか、例えば、泣き叫ぶ小児の治療の際に、隣のユニットの成人受診者から温かい理解を頂ける為の配慮や診療室の工夫、(ここは女性スペースの利かせ所!)、また一生通える、家族全員通える歯科医院である為の夫との連携についてなどをお話し、皆様のご意見を頂ければと思っています。